

平成23年度第2回 国土交通省東京航空局 入札監視委員会
審議概要

開催日及び場所	平成23年12月5日（月）霞が関合同庁舎第2号館共用会議室5	
委員	委員長 浅野 正一郎（国立情報学研究所教授） 委員 廣渡 鉄（弁護士） 委員 高田 和幸（東京電機大学准教授）	
審議対象期間	平成23年4月1日～平成23年9月30日	
抽出案件	総件数 3件	
工事 建設コンサルタント業務等 役務及び物品等	一般競争	1件
	公募型プロポーザル	1件
	一般競争	1件
各委員からの意見・質問、それに対する東京航空局の回答等	意見・質問	回答
	別紙のとおり	別紙のとおり
委員会による意見の具申又は勧告の内容	特になし	

質疑等	回答
<p>1. 工事(一般競争入札方式)</p> <p>「東京国際空港ナイトステイエプロン照明灯設置その他工事」について</p>	
<p>○今回の工事は特殊性のあるものなのか。</p> <p>○3者のみの応札となっている事も専門性が原因か。専門性の潜在的な会社はどのくらいあるか。</p> <p>○応札の会社は工事が主か、製造なども行う会社か。</p> <p>○3者のみの応札となった理由は、分析はされているか。</p> <p>○参加等級Bへの拡大は検討しなかったのか。</p> <p>○今回整備しているナイトステイエプロンの必要性は何か。</p> <p>○頁104の総合評価について、評価は誰が行っているのか。評価の客観性はどのように保たれているのか。</p> <p>○頁104の総合評価の点数について、技術提案の点数は業者に通知されるのか。</p> <p>業者からクレームは来ていないか。</p> <p>○頁104のC者の加算点合計が記載されていない理由は何か。</p>	<p>○本工事に含まれる誘導路灯(航空灯火)に特殊性がある。</p> <p>○3者応札の原因は把握していないが、他にも受注できる業者は多数あり、概ね40者程度は存在する。</p> <p>○工事が主の会社。</p> <p>○あくまで想定であるが、東日本大震災が影響していると思われる。年度当初に復興事業が数多く発注されており、請負者の監理技術者等が不足していると思慮される。</p> <p>○A等級のみでも、多数の業者が存在することから、B等級への拡大は考えていない。</p> <p>○私見であるが、航空会社の運航形態の変化もあって、数多くの機体が羽田で夜間駐機をする状況にあり、夜間駐機用のスポットが不足している状況にあると聞いている。</p> <p>○東京局内で総合評価委員会を立ち上げ、逐次外部の方に評価をお願いしている。</p> <p>○点数は通知しない。技術提案の採用の有無のみを通知している。</p> <p>クレームは来ていない。</p> <p>○施工体制の確認審査は入札予定価格以下の応札者のみ実施。C者の応札価格は予定価格以上であり、施工体制の確認審査を実施していないため記入していない。</p>

審議概要

質疑等	回答
<p>2. 建設コンサルタント業務等(公募型プロポーザル方式) 「成田国際空港庁舎新築設計」について</p>	
<p>○参加表明者は何者か。</p>	<p>○3者です。</p>
<p>○参加可能な企業は何者程あるのか。</p>	<p>○正確な数は把握していませんがかなりあると思います。</p>
<p>○それにしては参加者が少ないが。</p>	<p>○大手はかなりの数がある。少ない理由の分析までは行っていない。</p>
<p>○参加資格条件が厳しいのでは。</p>	<p>○本件における参加条件が厳しいとは思われない。</p>
<p>○予定価格の事前提示は行っているのか。</p>	<p>○行っていない。</p>
<p>○工事施工監理を発注する予定はあるのか。</p>	<p>○あります。</p>
<p>○電気、機械の設計業務の内容は。</p>	<p>○工事発注に必要な詳細図等作成する。</p>
<p>○本件を評価する上でのポイントは。</p>	<p>○狭隘な敷地条件での検討や技術提案の3つのテーマを評価している。</p>

審議概要

質疑等	回答
<p>3. 役務(一般競争入札方式) 「空港施設管理保全システム(関東ブロック)取付・調整」について</p>	
<p>○1者の応札であるが、興味をひかなかったのだろうか</p> <p>○下水など機械施設の監視ということで特殊性は少ないだろうし、求めている実績のある社も、幅広いものだとは思いますが、参入したくないと思うような内容だったのだろうか</p> <p>○工期は長いが一か所当たりの作業には制限があるのか</p> <p>○取付機器は全て支給品とのことであるが、それらの製造メーカーも全て同じ者なのか</p>	<p>○申請書を取りに来た者は3者ありました。</p> <p>○複数者の競争を期待しましたが、旧システムを運用しながらの更新ということで、システムの理解という面や作業場所が狭く作業時間の制約も多いという業務ではあります。</p> <p>○運用しながら行う必要があり、取付調整には手間がかかり、場所によっては夜間などの作業になります。</p> <p>○センターシステムは三菱電機製ですが、端末システムなど一部は他社製です。</p>